



「団委員長メッセージ」

団委員長 高根博信



「東日本大」震災で亡くなられた方に衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

この度の震災に心を痛め何か行動を起こしたいと考えている方も大勢いらっしゃると思います。ボーイスカウト日本連盟も義援金、ボランティアの派遣などを通じて行動を起こしております。詳しくはボーイスカウト日本連盟のホームページをご覧ください。

目黒一団も団一丸となり“がんばろうニッポン”を応援していきたいと思っております。

ボーイスカウトのモットーは備えよ常に！です。この意味は備えあれば憂いなし。という意味ではないようで、いつでも準備万端だ！という意味だそうです。備えよ常に！を実行することまた発信していくことが“がんばろうニッポン”を応援する1つになるのかもしれないね！



目黒1団61周年・らしんばん601号 に際し思い出雑感

ボーイスカウト目黒1団 OB 会長 元育成会会長：木村 将

私は61年前の東京29隊（現目黒1団）の結成から、20周年の小城先生が鴛田さんに団委員長を譲られた日まで、隊長、副長、副団委員長など現役として奉仕させて頂きました。発隊当時の私は油面小学校の教師で教師経験4年でした。

リーダーは隊列のどこにいるのが適切かなど、教師経験を活用して指導しました。キャンプ後のスカウトへの個人観察や評価もそうでした。この頃の思い出として残っているのは、小城先生と小城先生の息子さんの吐夢（トム）さんからご指導を受けたスカウト達が当時の目黒公会堂の舞台上でインディアンダンスを披露したことです。すばらしい出来栄えに観客一同感動に包まれ万雷の拍手を送って下さいました。

カブ隊の初代隊長となり、副長、デンマザーと共にカブ隊指導の道を開いてきました。千葉県富津や三浦市の三戸浜海岸のキャンプは、母の会への感謝と共に忘れることは出来ません。

現役を退いたあとOB会を結成しました。会費の徴収、会の運営など加藤勝さんにお任せという具合会の維持に欠かせない人でした。

校長を退職した後、保護司を委嘱され保護司の仕事続けました。その頃育成会会長が欠員のままなので、ぜひお願いしたいと懇望されお引き受けしました。そして団の50周年の時、杉本勝輔さんに後任をお願いしました。勝輔さんのお祖父さん、お父さん、そして勝輔さんと三代にわたって育成会会長を務め本団の為に尽くされたことを銘記するものであります。

最近団の昔のことを語る人が、大野福三郎さん、鴛田正義さん、田邊健一郎さんぐらいになってしまいました。

600号の「らしんばん」から、継続と進歩のすばらしさを感じました。



目黒一団 らしんばん 弥栄

カブ隊活動 3月27日の集会（工作） 報告：原山カブ隊長

牛乳パックからパルプを再生して、紙すきを体験実習しました。

紙すき枠から作成したのですが、工具の取り使いとピンが小さく木材加工にてまどりました。

いざ、牛乳パックからパルプにしようとしても、やはりパルプを細かくするのは難しく、ちょっとブツブツ感のある、パルプ液になりました。

紙すきを実施しますと、はじめ完成した葉書は、厚くなったり、薄くなったり、小さかったり、色々でしたが、何回か繰り返して行くと、スカウトも紙すきになれ写真みたいに葉書らしくなってきました、大変いい体験ができました。



3月6日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて富士顕彰が行われました。平成22年の富士章スカウトは東京連盟で46名、うち山手地区5名、目黒1団からは2名が受章しました。

当日は高根さんが都合により欠席となり、吉田君とお母様、高根団委員長、大滝ベンチャー副長と私、そして現在富士章に取り組み中の飯島君が見学に行きました。

この日は、それぞれのスカウトが取り組んだアワード発表、富士章バックル授与式、レセプションと長時間にわたりましたが、晴れ晴れとした表情のスカウト達がとても印象的でした。

今回、受章した高根さんと吉田君がカブ隊に入隊した時、現在の大滝ベンチャー副長がカブ隊長、私がカブ副長で「りすの道」を担当しました。

それから早9年、2人は立派に成長し、富士章スカウトとなりました。

入隊してから現在に至るまでの思いを吉田君が以下レポートにまとめました。



高根団委員長 山口隊長 吉田スカウト母 吉田スカウト

僕はウサギの途中(小3)からボーイスカウト目黒1団に入団しました。カブ隊の頃はリーダーにいつも注意されていたスカウトで、チャレンジ章も10個しか取りませんでした。ボーイ隊に上進し、初めの1年以上は中学受験で活動に参加できず、初級を取ったのは3年目の11月でした。

その後、ボーイ隊では1級までしか取ることができず、菊スカウトにはなれませんでした。ベンチャー隊に上進する時に「富士章を目指すか」と新しくベンチャー隊長になる山口隊長に聞かれ、今までの悔しい思いとベンチャー隊では自分の出来る限りのことをやり遂げたいという思いがあったので目指すことを決めました。

富士章を取得するには3つのプロジェクトアワードと5つの技能章、宗教章の取得が必要です。技能章と宗教章は講習会や研修会に参加することで取得することができました。大変だったのは3つのプロジェクトアワードでした。

第1アワードの「オーストラリアベンチャー派遣」は順調に終わりましたが、第2アワードの「団クリスマス会」第3アワードの「雪中キャンプ」はかなり時間がかかりました。一時は提出期限に間に合うか心配でしたが、山口隊長のサポートや、一緒に富士章を目指した高根さんの協力で無事にすべての項目が終了し、申請書類の作成、団面接、地区面接を終え、富士章を取得することができました。

そして、3月6日に行われた「富士章受章者顕彰のつどい」に参加しました。自分のアワードを1つ選び模造紙にまとめて発表するオリエンテーションを4つのグループに分かれて行いました。他の富士章スカウトがどのようなアワードを行ったのか知ることができ、とてもいい刺激になりました。また、自分の発表では山手地区のお世話になった方々が見に来て下さって、緊張はしましたが、自分の伝えたいことをハッキリと発表することができました。

レセプションの席で「富士章はゴールではなく、新しいスタートと思ってほしい」と何度もお話がありました。このことを常に胸におき、大学受験が終わった後もスカウト活動を続け、社会に貢献できるような立派な大人になりたいと思います。

最後になりましたが、富士章取得に協力して下さいました、隊長をはじめとする団関係者の方々、山手地区指導者の皆様、そして両親に感謝しています。ありがとうございました。

本当にボーイスカウトを続けていてよかったと思います。これからご指導よろしくお願ひします。

ベンチャー隊 吉田尚太郎



顕彰バックル授与式



アワードの発表

各隊活動報告&活動予定

	3月の活動	4月の予定
BVS	6日 茶道体験	17日 隊集会(体験集会)
	27日 防災学習	24日 ビバリアビック(運動会)
CS	6日 隊集会(料理)	16日 保護者会
	27日 隊集会(工作)	17日 隊集会(体験集会)
		24日 ハイキング
BS	20日 隊集会(中止)	17日 隊集会(体験集会)
	30-4/2 班キャンプ(中止)	
VS	7日 15回と合同会議	未定 隊会議
	9日 隊会議 ※雪中キャンプは大震災の影響により中止となりました	
RS	12日 隊会議(中止)	3日 隊会議
	27日 隊会議(中止)	9-10日 一泊キャンプ